

DRUG

INFORMATION

2004 No. 18

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室（内線7083）

平成16年9月21日発行

目 次

高濃度カリウムアンプル製剤について

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。

<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/index.htm>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。

di8931@cc.gifu-u.ac.jp

高濃度カリウムアンプル製剤について

9月2日の薬事委員会で決定された高濃度カリウムアンプル製剤の運用（参照）について、下記のように実施しますので、医局、病棟スタッフに周知徹底をお願いします。

- ①10月1日(金)に、病棟（ICU、HCU、手術室を除く）在庫から高濃度カリウムアンプル製剤（アスパラ K 注射液、K.C.L.注射液）を回収する。代替品のカリウム製剤を希望する病棟には、メディジェクト K を配置する。
- ②10月4日(月)から、病棟（ICU、HCU、手術室を除く）ではアスパラ K 注射液、K.C.L. 注射液の使用は中止し、メディジェクト K に変更する。

なお、メディジェクト K の使用については専用の注射針（プレフィルドシリンジホルダーC）が必要ですので、病棟に用意しておいてください。メディジェクト K の詳細な使用方法は別紙を参照してください。

参照（9月2日の薬事委員会の決定事項）

今後のカリウム製剤の運用について

高濃度カリウムアンプル製剤の使用は ICU、HCU、手術室に限定する。病棟（ICU、HCU、手術室を除く）では高濃度カリウムアンプル製剤の使用は中止し、ワンショット静注できないメディジェクト K (1mEq/1mL) を使用する。定数配置を希望する病棟は、メディジェクト K (1mEq/1mL) を定数配置とする。

アスパラ K 注射液	K：10 mEq/10mL
K.C.L.注射液	K：40 mEq/20mL
メディジェクト K	K：20 mEq/20mL

ヒヤリハット※を防ぐ

ハードキャップタイプ!



補正用 1モル 塩化カリウム液

メディジェクト® K

MEDIJECT® K

ハードキャップタイプ

ハードキャップタイプとは…

先端キャップがはずれない*



輸液ラインにつながらない



だから 安全!

*注意) 素手以外の治具(コッヘルなど)を使用すると開栓可能です。

※補正用1モル塩化カリウム液は、〈用法及び用量に関連する使用上の注意〉の中で、必ず希釈して使用することと記載されています。医療現場では、この製剤を希釈しないで、輸液ラインに直接つないで注入してしまうという、医療事故の危険性が懸念されてきました。

効能・効果、用法・用量、使用上の注意等については、裏面DIをご参照ください。

使用方法

1 メディジェクトKとプレフィルドシリンジホルダーCを用意します。



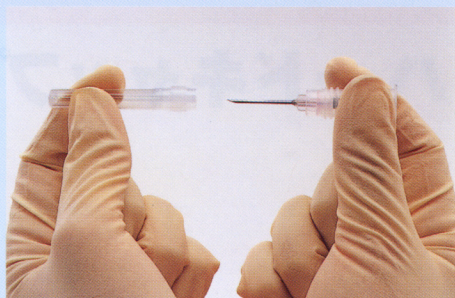
メディジェクトK



プレフィルドシリンジホルダーC

メディジェクトKを使用するためには、このホルダーが必要です。

2 ホルダーCのキャップをはずします。



3 ホルダーCを輸液剤の混注口に穿刺します。



4 メディジェクトKのキャップ先端のシールをはがし、ホルダーCに吻合し、薬剤を注入します。



輸液施行中に、この製剤を配合する場合には、必ずホルダーCを用いて輸液剤に配合してください。



販売名:プレフィルドシリンジホルダーC
コード番号:XX-PF1825
医療用具承認番号 21000BZZ00292

補正用 1モル 塩化カリウム液

メディジェクト® K

MEDIJECT® K

商品名

和名: メディジェクトK

洋名: MEDIJECT K

日本標準商品分類番号 873319

承認番号 11AM-00374

製造・販売会社名 テルモ株式会社

発売年月 1999年12月

薬価収載 1999年11月

添付文書作成年月 1999年9月

添付文書改訂年月 2003年12月

組成・性状

〈成分・分量〉 1シリンジ20mL中

塩化カリウム(g) 1.491

KCl

(添加物)

リン酸リボフラビンナトリウム

(着色剤)(g) 0.006

〈電解質量〉

K⁺ (mEq) 20

Cl⁻ (mEq) 20

〈性状〉

黄色澄明の液である。

pH 5.0~6.5

浸透圧比 約6(生理食塩液に対する比)

効能又は効果

電解質補液の電解質補正

用法及び用量

電解質補液の補正用として、体内の水分、電解質の不足に応じて電解質補液に添加して点滴静脈内注射するか、腹膜透析液に添加して腹腔内投与する。

〈用法及び用量に関連する使用上の注意〉

(1) 本剤は電解質の補正用製剤であるため、必ず希釈して使用すること(カリウムイオン濃度として40mEq/L以下に必ず希釈し、十分に混和した後に投与すること)。

(2) ゆっくり静脈内に投与し、投与速度はカリウムイオンとして20mEq/hrを超えないこと。

(3) カリウムとしての投与量は1日100mEqを超えないこと。

使用上の注意

①副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度については文献等を参考にした。

急速投与による障害	頻度不明
	高カリウム血症

②高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

③適用上の注意

(1)適用

本剤は、透析回路等の体外循環回路の高圧条件下で使用しないこと。

高圧条件下では押子を斜めに押すおそれがある。押子を斜めに押すとガスケットが変形し薬液及び血液がガスケットの部分から漏出するおそれがある。

(2)投与前

着色剤として含有するリン酸リボフラビンナトリウムは光に対して不安定で、分解すると退色あるいは沈殿を起こすので、外觀に変化が見られた場合は使用しないこと。

(3)調製方法

添加したリン酸リボフラビンナトリウムの着色を目安として均一に希釈して使用すること。

(4)調製時

プリスター包装開封後は速やかに使用すること。

取扱い上の注意

〈貯法〉遮光保存、室温で保存

〈使用期限〉容器、外箱に表示

〈使用前の注意〉

●プリスター包装は使用時まで開封しないこと。

●プリスター包装は開封口から静かに開けること。

●プリスター包装から取り出す際、押子を持って無理に引き出さないこと。ガスケットが変形し、薬液が漏出するおそれがある。

●内容液が漏れている場合や、内容液に混濁や浮遊物等の異常が認められるときは使用しないこと。

●シリンジに破損等の異常が認められるときは使用しないこと。

●シリンジ先端部のシールが、万一はがれているときは使用しないこと。

〈調製時の注意〉

●開封後の使用は1回限りとし、使用後の残液は容器とともに速やかに廃棄すること。

●シリンジが破損するおそれがあるため、強い衝撃を避けること。

●注入前後ともに押子を引かないこと。

〈使用後の注意〉

●シリンジ及びホルダーの再滅菌・再使用はしないこと。

●ホルダーは針の誤刺防止に留意し、廃棄すること。

包装

20mL×10本



4 987350 025296

TERUMO®

資料請求先 テルモ株式会社学術情報部 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1

製造発売元 テルモ株式会社 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1

http://www.terumo.co.jp/

㊞、テルモ、TERUMO、メディジェクト、MEDIJECTはテルモ株式会社の登録商標です。

© テルモ株式会社 2004年1月

04T027-7AN10SZ0407

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています。